

生活保護のしおり

H27.5 改訂

このたび、あなたから、生活保護^{せいかつ ほ ご}の相談^{そうだん}・申請^{しんせい}がありましたので、あなたの家庭^{かてい}の相談相手^{そうだんあいて}として、民生委員^{みんせいいいん}・児童委員^{じどういいん}とともに協力^{きょうりよく}してできる限り^{かぎ}の援助^{えんじょ}をしたい
おも
と思います。

生活保護法^{せいかつ ほ ご ほう}において、保障^{ほしょう}されることや、努力^{どりよく}していただくことについて、ケースワーカーが説明^{せつめい}しますが、
あなたもこの冊子^{さっし}をよくお読み^よください。

ーもくじー

- 1 生活保護^{せいかつ ほ ご}とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 生活保護^{せいかつ ほ ご}が決まる^きまで・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 保護^{ほ ご}の決め方^{き かた}・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4 ケースワーカーと民生委員^{みんせいいいん}・児童委員^{じどういいん}・・ 4
- 5 保護^{ほ ご}の種類^{しゅるい}・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 6 あなたの権利^{けんり}と義務^{ぎ む}・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 7 その他^た・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

1 生活保護とは

生活保護とは、憲法第25条に規定する理念に基づき「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに、自分の力で生活していけるように手助けする制度で、暮らしに困った場合に、誰もが受けることができる制度です。

この制度では、次のような定めがあり、最善の努力をつくしてもなおかつ生活できない場合に、福祉事務所に申請（急迫な場合で申請できない状況にあるときは除かれます）することにより、必要なお金や品物などが支給されます。

(1) 能力の活用

働ける方は、能力に応じて仕事に励んでください。

(2) 資産の活用

生活必需品以外の財産（たとえば、預貯金、有価証券、土地、家屋、高額または貯蓄性の高い各種保険、貴金属類、自動車、ピアノなど）のある方は、暮らしのために活用（たとえば売却して生活費にあてるなど）してください。

※ 自動車の保有などについて

生活保護を受けている間は自動車を保有したり、借りて利用することは、次の理由などにより原則として認められていません。

- 生活保護制度は、生活に困っている方の最低限度の生活を保障するにすぎないため、自動車の保有にかかる保険料、自動車税、車検費用、燃料代など多額の経費により最低生活が圧迫されること

- 交通事故を起こしたときの賠償能力に問題があること

- 地域の低所得者との均衡が保てないこと

なお、身体障害者の通勤用自動車などは認められる場合もあります。くわしくは福祉事務所にご相談ください。

生活保護を受けている間に、福祉事務所の指導・指示に従わ

ず、^{くるま}車^{ほゆう}を保有したり^{かりよう}借りて利用すると、^{ほご}保護^{へんこう}の^{ていし}変更、停止^{はいし}または^{はいし}廃止^{じゅうぶんちゅうい}をされることがありますので、十分注意してください。

(3) ^{ふようぎむしゃ}扶養義務者^{ふよう}の扶養

^{おやこ}親子^{きょうだいしまい}、兄弟姉妹^{しん}、親せき^{かた}などがいる方は、できるだけ、その方々^{かたがた}から^{えんじょ}援助^うを受けてください。

(4) ^{ほか}他の^{ほりつ}法律^{きゅうふ}の給付

^{こくみんねんきん}国民年金^{こうせいねんきん}、厚生年金^{けんこうほけん}、健康保険^{こようほけん}、雇用保険^うなどが受けられる方^{かた}は、すべて^うを受けてください。

2 ^{せいかつ ほご}生活保護^きが決まるまで

そうたん
相談

^{ほご}保護^{たず}のことを、お尋ねになりたい方は、^{かた}福祉事務所^{ふくしじむしょ}または^すお住まい^{ちく}の地区^{みんせいいいん}の民生委員・児童委員^{じどういいん}にご相談^{そうたん}ください。

しんせい
申請

^{ほご}保護^うを受けたい方は、^{かた}保護申請^{ほごしんせい}に必要な書類^{ひつよう}に必要な事項^{しょうい}を^{きにゆう}記入^{ふくしじむしょ}して、福祉事務所^{ていしゆつ}に提出^{ていしゆつ}してください。

ちようさ
調査

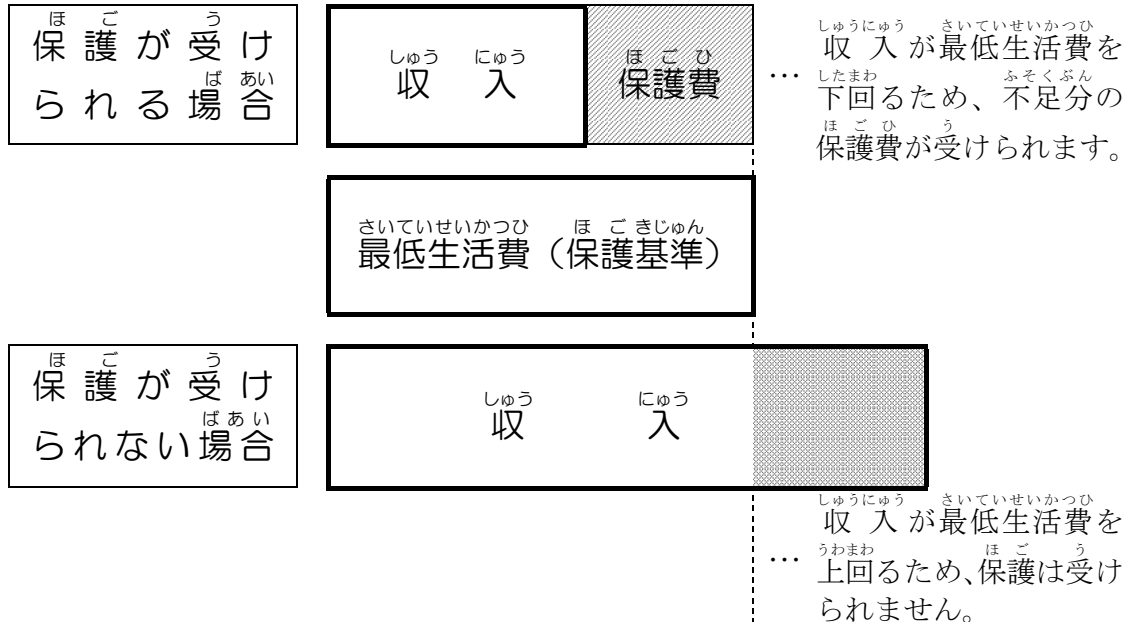
^{ふくしじむしょ}福祉事務所は、^{ほご}保護^{しんせい}を申請されたあなたの^{かてい}家庭^{ほうもん}などを訪問して、^{せいかつじょうきよう}生活状況^{ほご}や^{ようけん}保護の要件^みが満たされているかなどをお^{たず}尋ね^{きょうりよく}しますので、ご協力^{きょうりよく}ください。

けつてい
決定

^{ふくしじむしょ}福祉事務所は、あなたの^{しんこくないよう}申告内容^{かんけいきかん}や関係機関^{しょうかい}への^{けつ}照会^かの結果に基づいて、^{もと}厚生労働大臣^{こうせいろうどうだいじん}が定める^{さだ}基準^{きじゆん}（^{さいていせい}最低生活費^{かつひ}）と^{しゅうにゆう}収入^{くら}とを比べて、^{ほご}保護^{ひつよう}が必要かどうかを^{けつてい}決定^{けつてい}し、あなたに^{つうち}通知^{つうち}します。

3 保護の決め方

生活保護は、世帯全員の最低生活費と収入とを比べたうえで、決められます。



(1) 申請について

保護を決めるために、保護申請書のほか、必要な書類（別添様式参照）により申請手続きをしていただきます。

(2) 最低生活費（保護基準）について

厚生労働大臣が定める保護基準により、年齢別、世帯構成別、所在地別に世帯単位で決められます。

親族、他人を問わず、一緒に住み（同居）、生活をともにしている場合は、同じ世帯となります。

なお、入院している家族や出稼ぎしている家族などは、実際に同居していなくても、同じ世帯になります。

(3) 収入について

給与、年金、手当、仕送り、借入金など、現実に世帯に入ったすべてのものが収入となります。

また、働いて得た給与などは、額に応じて定められる一定額（勤労控除）や通勤費などの必要経費を差し引き、収入として扱われます。

なお、善意の寄付金や修学の貸付金などは、収入として認定され

ばあい
ない場合があります。

4 ケースワーカーと民生委員・児童委員

(1) ケースワーカー

ケースワーカー（地区担当員）は、家庭訪問などによりあなたの生活状況などをお尋ねし、世帯の実情に応じた必要な助言や指導を行います。日常生活で何か困ったことや、不明なことがありましたら、気軽に相談してください。

(2) 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、それぞれの地域で、生活に困ったり悩みを持つ方々に必要な援助や助言を行います。何か困ったことや、不明なことがありましたら、気軽に相談してください。

5 保護の種類

生活保護は、その内容ごとに次の8種類の扶助があります。

- (1) 生活扶助 食べるもの、着るもの、電気、ガス、水道代などの日常生活の暮らしに必要な費用
- (2) 教育扶助 学用品費、学級費、給食費などの義務教育に必要な費用
- (3) 住宅扶助 家賃、地代などの住宅に必要な費用
- (4) 医療扶助 病気やけがの治療に必要な費用
- (5) 介護扶助 介護サービスを受けるために必要な費用
- (6) 出産扶助 出産をするために必要な費用
- (7) 生業扶助 技術を身につけたり、高等学校などに就学したり、仕事につくために必要な費用
- (8) 葬祭扶助 葬祭のために必要な費用

毎月支給される保護費のなかには、最低生活費として必要なものは、すべて含まれています。しかしながら、出産、入学、入退院や新しく保護を受ける方で必要なものの持ち合わせがないなど、やりくりではこれらの必要なものの確保が困難な場合があります。そこで、このような臨時的な需要に応じるため、必要に応じて支給される一時扶助があり、代表的なものは次のとおりです。

・被服費

―布団

布団類が全くないか、全く使用できなくなったときの費用

―被服

着るものを持っていないときの費用

―新生児被服等

出産を控えて産着などが必要なときの費用

―寝巻等

入院するときに、寝巻などが全くないか、使用できないときの費用

―おむつ

常時失禁状態で、おむつが必要なときの費用

・入学準備金

小・中学校の入学準備に必要な費用

か く じゅうき
・ 家具什器

はいでんせつび
・ 配電設備

すいどうとうせつび
・ 水道等設備

てんきょ さい しきぎん
・ 転居の際の敷金など

かおくほしゅうひ
・ 家屋補修費

にゅうよくせつび ふせつ
・ 入浴設備の付設

つうがくようじてんしゃ
・ 通学用自転車

ちりょうざいりょう きゅうふ
・ 治療材料の給付

しじゅつ きゅうふ
・ 施術の給付

いそう きゅうふ
・ 移送の給付

ちょうきにゅういんごたいいん たんしんしゃ さいがい かた
長期入院後退院する単身者や災害にあった方な

どがひつよう すいじようぐ しょつきるい ひよう
どが必要とする炊事用具・食器類の費用

はいでんせつび しんせつ ひよう
配電設備を新設するときの費用

い ど みず いんよう てき すいどう せつび
井戸水が飲用に適しないなど水道の設備がどう

ひつよう ひよう
しても必要なときの費用

たいいん と し け い かく ほう てんきょ
退院するときや都市計画法などによって転居が

ひつよう ひよう
どうしても必要なときの費用

かおく や ね かべ ほしゅう ひつよう ひよう
家屋の屋根や壁などの補修が必要なときの費用

じゅうど しんしんしょうがいしゃ ほこうこんなん ろうじん
重度の心身障害者や歩行困難な老人などで

きんりん こうしゅうよくじょう にゅうよくせつび せつち
近隣に公衆浴場がないときに入浴設備の設置

ひつよう ひよう
に必要な費用

つうがく じてんしゃ しょう
通学のために自転車を使用しなければならない

じてんしゃこうにゅうひ
ときの自転車購入費

めがね ほこうほじょ ぎ し そうぐ
眼鏡、歩行補助つえ、義肢、ストーマ装具

はいせつしえんようぐ きゅうふ う ひよう
(排泄支援用具) などの給付を受ける費用

じゅうどうせいふく ま
柔道整復、はり・きゅう、あん摩・マッサージ

きゅうふ う ひよう
の給付を受ける費用

いりょうきかん つういん こうつうひ
医療機関に通院するときなどの交通費

じょうきいがい いちじふじょ
上記以外にも一時扶助があります。

しきゅう いってい じょうけん しきゅう ばあい じょうげんがく
それぞれの支給には一定の条件があり、支給されない場合や上限額が

じぜん ふくしじむしょ そうだん しんせい おこな
ありますので、事前に、福祉事務所に相談・申請を行ってください。

しきゅう りょうしゅうしょ しよるい ひつよう ばあい
支給にあたっては、領収書などの書類が必要な場合もあります。

6 あなたの権利と義務

- (1) 正当な理由がなければ、すでに決定された保護は変更されません。
- (2) 保護費として支給された金品については、税金が課せられたり、差し押さえられることはありません。
- (3) 保護を受ける権利は、譲り渡すことができません。
- (4) 常に生活の維持向上に努めなければなりません。
- ア 病気やけがで働けない方は、医師の指示を守って療養してください。
- イ 働ける方は、能力に応じて仕事に励んでください。
- ウ 年齢が18～64歳で働ける方が失業中のときは、求職活動をして毎月「求職活動状況・収入申告書」を提出してください。
- エ 生活のむだをなくし、計画的な暮らしを心がけてください。
- オ 家賃、介護保険料、その他納めなければならない金品のある方は、定められた期限までに納めてください。
- (5) 生活状況や保護を受ける内容が変わる場合には、すみやかに届出をしなければなりません。
- ア 住所を変えるとき。
- イ 家族の状況が変わったとき。(就職・進学・転入・転出・入院・退院・妊娠・出産・死亡など)
- ウ 仕事が変わったときや、仕事についていなかった方が仕事についていたとき。
- エ 収入が変わったとき。(給与や年金、手当額が変わったとき、ボーナスや他の給付金が入ったときなど)
- オ 家賃や地代が変わったとき。
- カ 交通事故など災害にあったとき。
- キ その他生活の状況が変わったとき。
- (6) 福祉事務所が行う指導・指示(ケースワーカーの訪問指導を含む)には従わなければなりません。
- これらの義務に違反したときは、保護の変更、停止または廃止をされることがあります。

(7) 費用の返還について

資力があるにもかかわらず、保護を受けたときには、さきに支給された保護費をあとから返還しなければなりません。(例えば、さかのぼって年金が支給されたときや、生命保険の解約返戻金、各種還付金が生じ支給されたときなど)

7 その他

(1) 保護費の受け取り方

窓口払いの場合

毎月 5 日 (土曜・日曜・祝日のときは前日) に決められた窓口で保護決定通知書と印鑑を持って世帯主と一緒に生活している家族の方がおこしください。

口座払いの場合

毎月 5 日 (土曜・日曜・祝日のときは前日) に口座に振り込まれます。

(2) 医療の受け方 (けがや病気になったときなど)

あなたや家族の方がけがをしたり病気にかかって、医者にみてもらうときは (入院するときも、通院するときも) その前に福祉事務所に届出をしてください。

もし急病などで届出ができないときは、その後、すみやかに届出をしてください。

病気が治ったとき、退院するとき、医者を変えようとするときは、そのことを福祉事務所に届出をしてください。

なお、保護を受けている間 (保護の停止中を除く) は国民健康保険証を使用できませんので、すみやかに担当窓口にお返しください。

(3) 介護の受け方 (ホームヘルパーやデイサービスなど)

高齢者などで介護が必要と認定された方は、介護サービスを受ける

ことができます。この認定の手続きは、市の担当窓口に相談してください。

認定を受けた後、介護を受けるときは、その前に福祉事務所に届出をしてください。

(4) 不服の申立について

福祉事務所の行った保護の申請却下、変更、停止、廃止などの決定に不服があるときは、決定を知った日の翌日から3ヶ月以内に、知事に対して不服の申立（審査請求）ができます。ただし、外国人の方は申立ができません。

知事は、審査のうえ裁決します。この裁決に不服のある場合は、さらに厚生労働大臣に対して不服の申立（再審査請求）ができます。

(5) 不正な保護について

不正な手段で保護を受けたときには、さきに支給された保護費をあとから徴収されることになっています。また、故意・悪質な場合には、本来の徴収額に金額を上乗して徴収されることがあります（最大100分の140まで）。さらに、3年以下の懲役または、100万円以下の罰金が課せられることがあります。

(6) 各種の相談機関など

＜相談機関＞

・地域包括支援センター

・身体障害者更生相談所

・知的障害者更生相談所

・こども家庭センター

・幼児教育センター

・女性家庭センター

・精神保健福祉センター

・保健所

高齢者の暮らし、介護・介護保険の相談

身体障害者の判定指導

知的障害者の判定指導

子どもの養育、施設入所などの相談

幼児のしつけと遊びなどの相談

DV（家庭内暴力）、自立更生などの相談

他人とのつきあいなど、こころの悩みなどの相談

結核やこころの悩み、公衆衛生などの相談

・ ハローワーク

・ 年金事務所

・ 交通事故相談所

・ ボランティアセンター

・ 暴力団追放兵庫県民センター

・ 兵庫県民総合相談センター

しごと こようほけん そうだん
仕事や雇用保険などの相談

ねんきん かくしゅほけん そうだん
年金、各種保険の相談

こうつうじ こ かん そうだん
交通事故に関する相談

ボランティア活動に関する相談

ぼうりょくだん ひがい そうだん
暴力団による被害などの相談

ほうりつ かじ す にちじょうせいかつ
法律、家事、住まいなどの日常生活に
かん そうだん
関する相談

＜相談者＞

ろうじんふくししどうしゅじ
・ 老人福祉指導主事

こうれいしゃ く しんばい しせつにゆうしょ り
高齢者の暮らしや心配ごと、施設入所（利
よう そうだん
用）などの相談

しんたいしょうがいしゃ そうだんいん
・ 身体障害者相談員

しんたいしょうがいしゃ く しんばい そうだん
身体障害者の暮らし、心配ごとなどの相談

ちてきしょうがいしゃ そうだんいん
・ 知的障害者相談員

ちてきしょうがいしゃ く しんばい そうだん
知的障害者の暮らし、心配ごとなどの相談

かてい そうだんいん
・ 家庭相談員

かてい こ よういく そうだん
家庭、子どもの養育などの相談

ぼ し じりつしえんいん
・ 母子自立支援員

ぼ し かてい く しんばい そうだん
母子家庭の暮らし、心配ごとなどの相談

せいしんほけん ふくし そうだんいん
・ 精神保健福祉相談員

こころの悩みや不安などの精神保健福祉に
なや ふあん せいしんほけんふくし
関する相談
かん そうだん

ほけんし
・ 保健師

ぼ し ほけん けんこうしんさ なや
母子保健や健康診査、こころの悩みなどの
相談
そうだん

ろうどう そうだんいん
・ 労働相談員

しごと かん そうだん
仕事に関する相談

これらのほかにも、日常生活の悩みなどについて、気軽に相談でき
るところがありますので、くわしいことを知りたい場合は、遠慮なく
ふくしじむしょ と あ
福祉事務所にお問い合わせください。